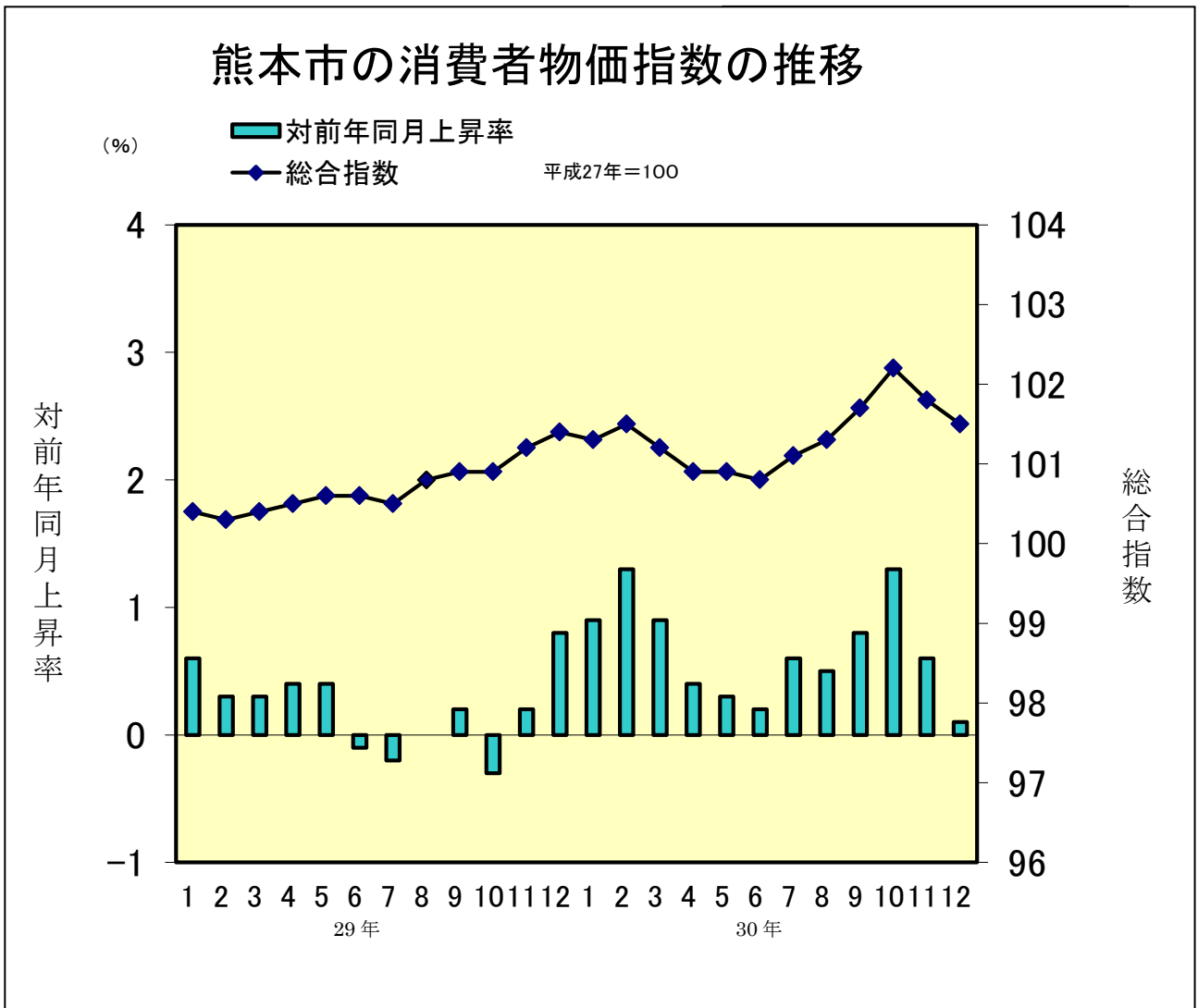


平成27年基準

熊本市の 消費者物価指数

平成30年12月分



12月の熊本市の消費者物価指数の動向

総合指数	101.5
前月比	-0.3%
前年同月比	+0.1%

○総合指数は、平成27年を100として101.5となり、前月に比べ-0.3%となった。

前年同月比でみると、平成30年9月は+0.8%、10月は+1.3%、11月は+0.6%と推移した後、12月は+0.1%となった。

○生鮮食品を除く総合指数は101.6となり、前月に比べ-0.2%となった。

前年同月比は、平成30年9月は+0.6%、10月は+0.9%、11月は+0.6%と推移した後、12月は+0.4%となった。

○食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は100.7となり、前月に比べ-0.1%となった。

前年同月比は、平成30年9月は-0.4%、10月は-0.3%、11月は-0.4%と推移した後、12月は-0.6%となった。

○上昇及び下落した主な項目（寄与度順）

（1）前月との比較

△上昇した主な項目

菓子類	(+)1.9%
教養娯楽サービス	(+)0.9%
果物	(+)3.7%

▽下落した主な項目

自動車等関係費	(-)2.3%
野菜・海藻	(-)6.0%
身の回り用品	(-)2.7%

（2）前年同月との比較

△上昇した主な項目

電気代	(+)6.2%
自動車等関係費	(+)2.3%
外食	(+)2.2%
菓子類	(+)3.1%

▽下落した主な項目

野菜・海藻	(-)12.1%
家庭用耐久財	(-)20.4%
通信	(-)3.2%
教養娯楽サービス	(-)1.2%

1 前月からの動き

総合指数の前月比は0.3%の下落となった。

10大費目でみると、教養娯楽サービスなどの「教養娯楽」が0.3%の上昇となった。

一方、家事用消耗品などの「家具・家事用品」が1.2%の下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前月比は0.2%の下落となった。

また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の前月比は0.1%の下落となった。

○費目ごとの主な動き

(1) **教養娯楽**は100.3となり、前月に比べ0.3%の上昇。

教養娯楽用耐久財 2.5%の下落

教養娯楽サービス 0.9%の上昇

教養娯楽用品 0.6%の下落

(2) **家具・家事用品**は94.3となり、前月に比べ1.2%の下落。

家事用消耗品 2.3%の下落

室内装備品 2.1%の下落

家庭用耐久財 1.2%の下落

寝具類 0.7%の下落

(3) **交通・通信**は99.0となり、前月に比べ1.2%の下落。

自動車等関係費 2.3%の下落

交通 0.1%の上昇

(4) **諸雑費**は102.8となり、前月に比べ0.4%の下落。

身の回り用品 2.7%の下落

理美容用品 0.2%の上昇

表1 10大費目別対前月上昇率及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
指数	101.5	102.4	101.3	102.2	94.3	105.4	104.5	99.0	103.1	100.3	102.8	101.6	100.7
上昇率(%)	▲0.3	▲0.2	0.0	0.0	▲1.2	▲0.3	▲0.2	▲1.2	0.0	0.3	▲0.4	▲0.2	▲0.1
寄与度	▲0.3	▲0.06	▲0.01	0.00	▲0.04	▲0.01	▲0.01	▲0.15	0.00	0.02	▲0.03	▲0.15	▲0.08

* 寄与度は、各品目または各項目の総合指数の上昇率に対する影響度を見るもの

2 前年同月との比較

総合指数の前年同月比は0.1%の上昇となった。

10大費目でみると、他の光熱などの「光熱・水道」が3.6%の上昇となった。

一方、家庭用耐久財などの「家具・家事用品」が8.9%の下落となった。

なお、生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は0.4%の上昇となった。

また、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の前年同月比は0.6%の下落となった。

○費目ごとの主な動き

(1) **光熱・水道**は102.2となり、前年同月に比べ3.6%の上昇。

他の光熱	12.3%の上昇
電気代	6.2%の上昇
ガス代	1.6%の上昇

(2) **保健医療**は104.5となり、前年同月に比べ1.3%の上昇。

保健医療サービス	1.9%の上昇
保健医療用品・器具	1.8%の上昇
医薬品・健康保持用摂取品	0.3%の下落

(3) **被服及び履物**は105.4となり、前年同月に比べ1.2%の上昇。

シャツ・セーター類	6.7%の上昇
履物類	6.4%の下落
洋服	2.3%の上昇
下着類	2.0%の下落
他の被服類	1.6%の下落

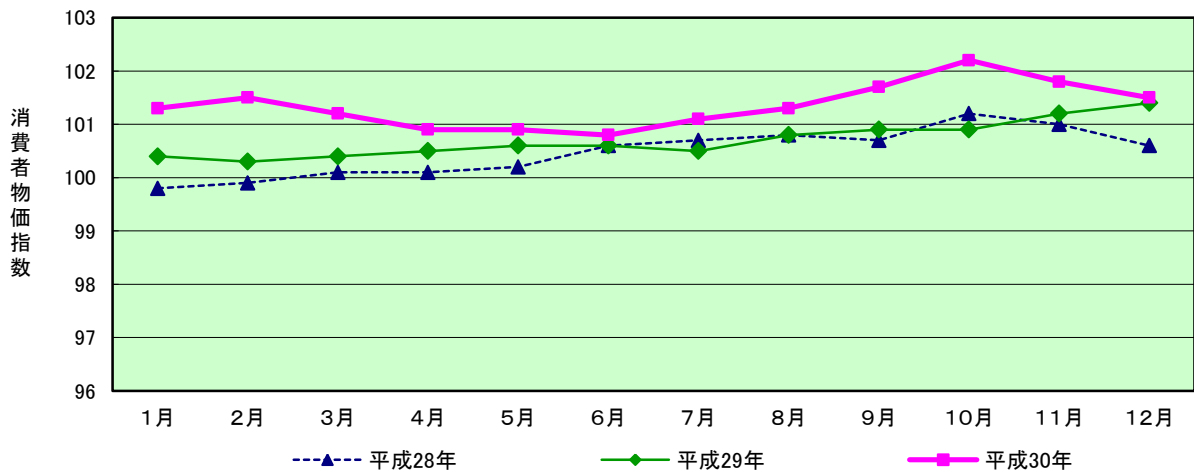
(4) **家具・家事用品**は94.3となり、前年同月に比べ8.9%の下落。

家庭用耐久財	20.4%の下落
家事雑貨	7.3%の下落
寝具類	2.9%の下落
室内装備品	1.5%の上昇
家事用消耗品	0.9%の上昇

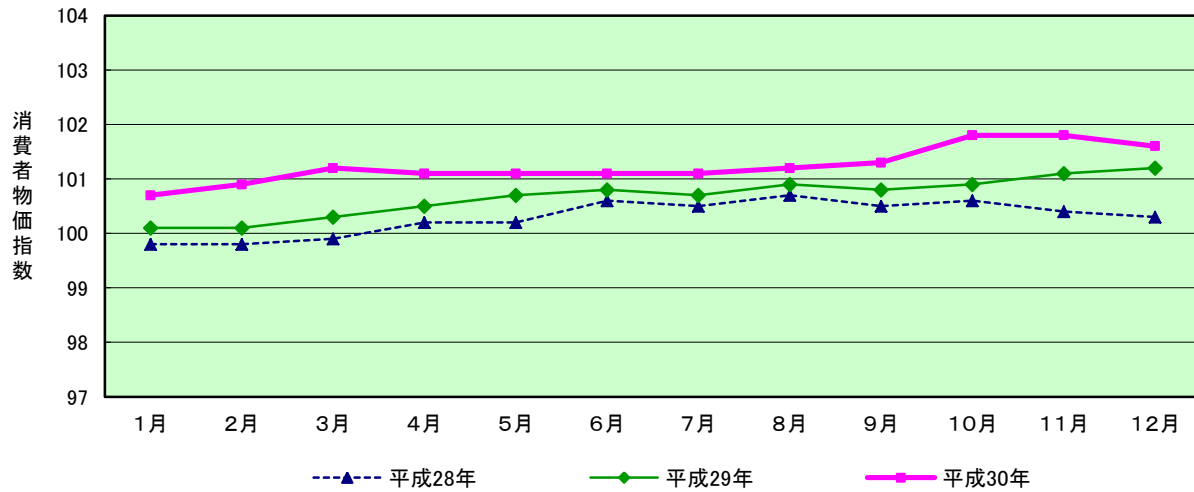
表2 10大費目別対前年同月上昇率及び寄与度

		総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合
対前年同月上昇率(%)	11月	0.6	0.9	0.1	3.6	▲5.9	0.4	1.3	1.4	0.3	▲0.7	1.4	0.6	▲0.4
	12月	0.1	0.0	0.4	3.6	▲8.9	1.2	1.3	▲0.1	0.3	▲1.0	0.8	0.4	▲0.6
寄与度	11月	0.6	0.24	0.03	0.24	▲0.22	0.02	0.05	0.18	0.01	▲0.07	0.09	0.62	▲0.29
	12月	0.1	0.01	0.07	0.25	▲0.33	0.06	0.05	▲0.02	0.01	▲0.10	0.06	0.43	▲0.41

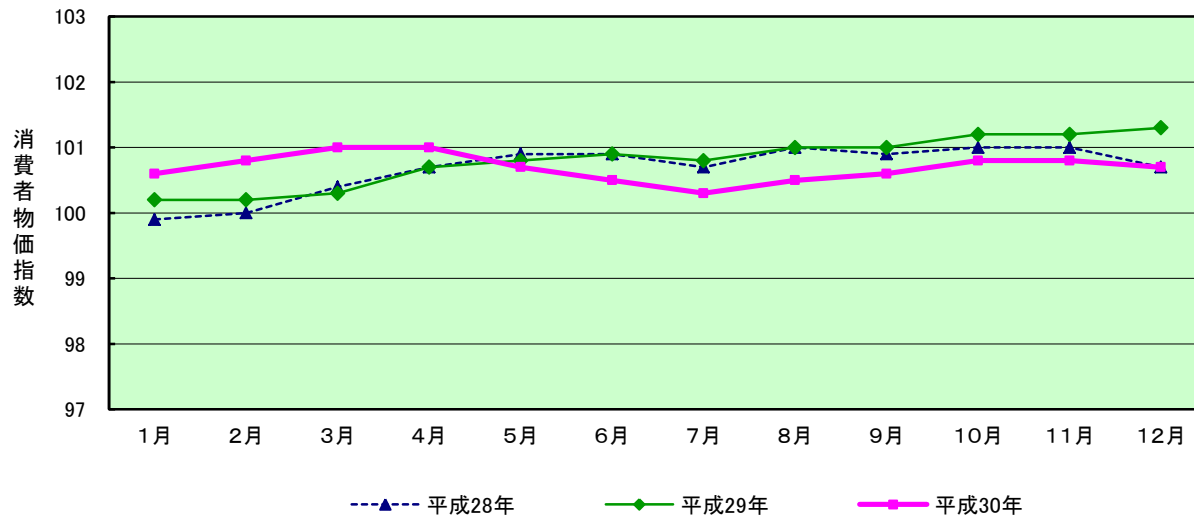
総合指数の推移



生鮮食品を除く総合指数の推移

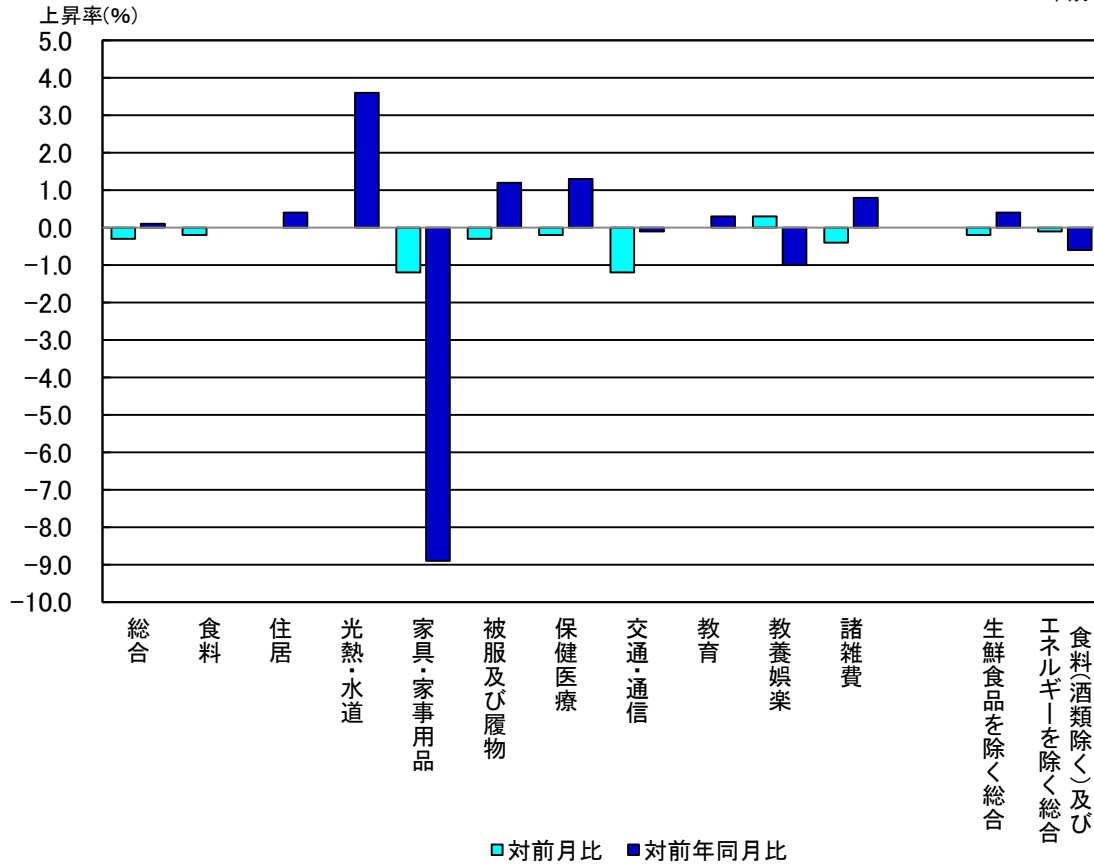


食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



10大費目別 対前月比 及び 対前年同月比

平成30年12月



生鮮品目の推移

